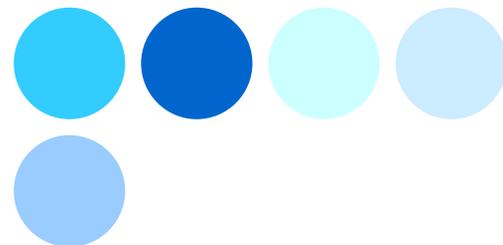
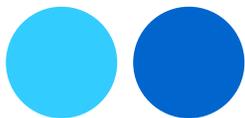


**第一部：2006年3月期  
第1四半期業績結果と今後の見通し**

**第二部：IAB事業説明  
IABの開発・生産拠点を再編**

2005年7月29日  
**オムロン株式会社**





# 目次

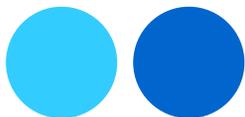
## 第一部：2006年3月期

### 第1四半期業績結果と今後の見通し

1. エグゼクティブサマリー	P. 4
2. 第1四半期業績結果	P. 6
3. 上半期ならびに通期業績見通し	P. 18

#### <注意>

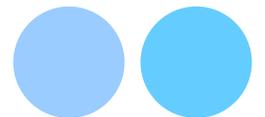
1. 四半期の財務数値については、監査法人による監査・レビューを受けておりません。
2. 当社の連結決算は米国会計基準を採用しています。
3. 連結子会社数は146社、持分法適用関連会社数は18社です。
4. 業績見通し等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なることがあります。  
実際の業績等に影響と与える重要な要因には、( ) 当社の事業領域を取り巻く日本および海外の経済情勢、( ) 当社製品・サービスに対する需要動向、( ) 新技術開発・新商品開発における当社グループの能力、( ) 資金調達環境の大幅な変動、( ) 他社との提携・協力関係、( ) 為替・株式市場の動向などがあります。  
なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。



# 主な事業内容と略称

事業	事業名称	略称	事業内容
制御機器	インダストリアル・オートメーション・ビジネス	I A B	工場自動化等の制御機器の製造販売
電子部品	エレクトロニクス・コンポーネツ・ビジネス	E C B	家電や通信機器、モバイル機器向けの電子部品の製造販売
車載電装品	オートモティブ・エレクトロニック・コンポーネツ	A E C	自動車搭載用電子部品の製造販売
公共システム	ソーシャル・システムズ・ビジネス	S S B	自動改札機などの鉄道機器、交通管制システムの製造販売とサービス
健康機器	ヘルスケア・ビジネス	H C B	電子血圧計等の家庭用健康機器の製造販売
その他	事業開発本部ほか	その他	新規事業の探索や、上記部門に属さない事業

# 1. エグゼクティブサマリー



2006年3月期はグランドデザイン2010(GD2010)の第2ステージ(2004年4月～2008年3月)の2年目  
第2ステージ目標達成に向けたマイルストーンと位置づけ「強靱な収益構造への前進」を図る

## 第1四半期業績結果とポイント

・売上/利益ともに、ほぼ計画どおり

連結売上高 1,385億円 (予算比 99% 前年比94%)

連結営業利益 91億円 (予算比 96% 前年比60%) 営業利益率 6.6%

- ・制御機器(IAB)、車載(AEC)、公共(SSB)、健康機器(HCB)の売上げはほぼ計画通りに進捗
- ・電子部品(ECB)は、デジタル家電の在庫調整の影響や、大型バックライトおよび小型バックライトのテーマ先送り等により、売上計画より下回る(予算比90%)
- ・売上高の前年比減少の最大要因はSSBの金融機器事業の合併会社への移行による(131億円減)
- ・営業利益の前年比減少の要因はSSBの金融機器事業の合併会社への移行による売上総利益減や、販売管理費(5億円)、研究開発費(4億円)の増加など

## 上期と通期業績見通しとポイント

・売上、営業利益ともに当初計画どおりを見込む

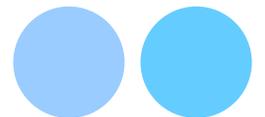
	上半期	通期
連結売上高	2,850億円 (前年比94%)	6,250億円 (前年比103%)
連結営業利益	300億円 (前年比96%)	650億円 (前年比116%)
営業利益率	10.5%	10.4%

・年金代行返上益(約90億円)は上期中に算入予定

・第2Qより、コーリンメディカルテクノロジー(CMT)分を含む

(年間売上見込 約70億円 営業利益 約3億円、9ヶ月分)

## 2. 第1四半期業績結果



# 連結損益計算書

売上高1,385億円 営業利益率6.6%  
連結売上、営業利益ともにほぼ予算どおり  
売上と利益の前年比マイナスは金融機器事業のJV移行が主要因

< 損益計算書 >

(単位:億円)

全社P/L	05年3月期 第1四半期 実績	06年3月期 第1四半期 実績	前年比 増減 %	06年3月期 第1四半期 当初計画	計画比 増減 %
売上高	1,479	1,385	* 93.6%	1,400	98.9%
売上総利益	611	559	91.6%	565	99.0%
販管費	348	353	101.5%	350	100.9%
R&D費	111	115	103.9%	120	96.1%
営業利益	152	91	59.8%	95	95.8%
税前利益	151	86	56.9%	100	85.8%
税引後利益	96	51	53.6%	55	93.6%

< 為替レート >

(単位:円)

US\$レート	108.4	108.1	-0.3	100.0	8.1
EURレート	131.3	136.2	4.9	130.0	6.2

\*注) 2004年10月に合併に移行したATM等の金融機器事業の売上を除くと前年比 102.7%

国内外ともにほぼ計画どおり  
セグメント別では、電子部品(ECB)を除きほぼ計画どおり

(単位:億円)

エリア別	05年3月期 第1四半期 実績	06年3月期 第1四半期 実績	前年比 増減 %	06年3月期 第1四半期 当初計画	当初計画比 増減 %
国内	860	773	89.8%	779	99.2%
海外**	619	612	98.8%	621	98.5%
合計	1,479	1,385	93.6%	1,400	98.9%

\*\*直接貿易は海外に含む

カンパニー別	実績	実績	%	当初計画	%
IAB	640	646	101.0%	650	99.4%
ECB	248	226	91.0%	250	90.4%
AEC	149	175	117.2%	170	102.8%
SSB	*265	156	58.8%	150	103.9%
HCB	124	124	100.2%	125	99.2%
その他	54	58	108.2%	55	105.3%
合計	1,479	1,385	93.6%	1,400	98.9%

\*注) 2005年3月期の実績は、ATM等の金融機器事業の実績を含む

**制御機器事業 (IAB) は為替の影響や経費抑制により計画比増  
電子部品 (ECB) は苦戦**

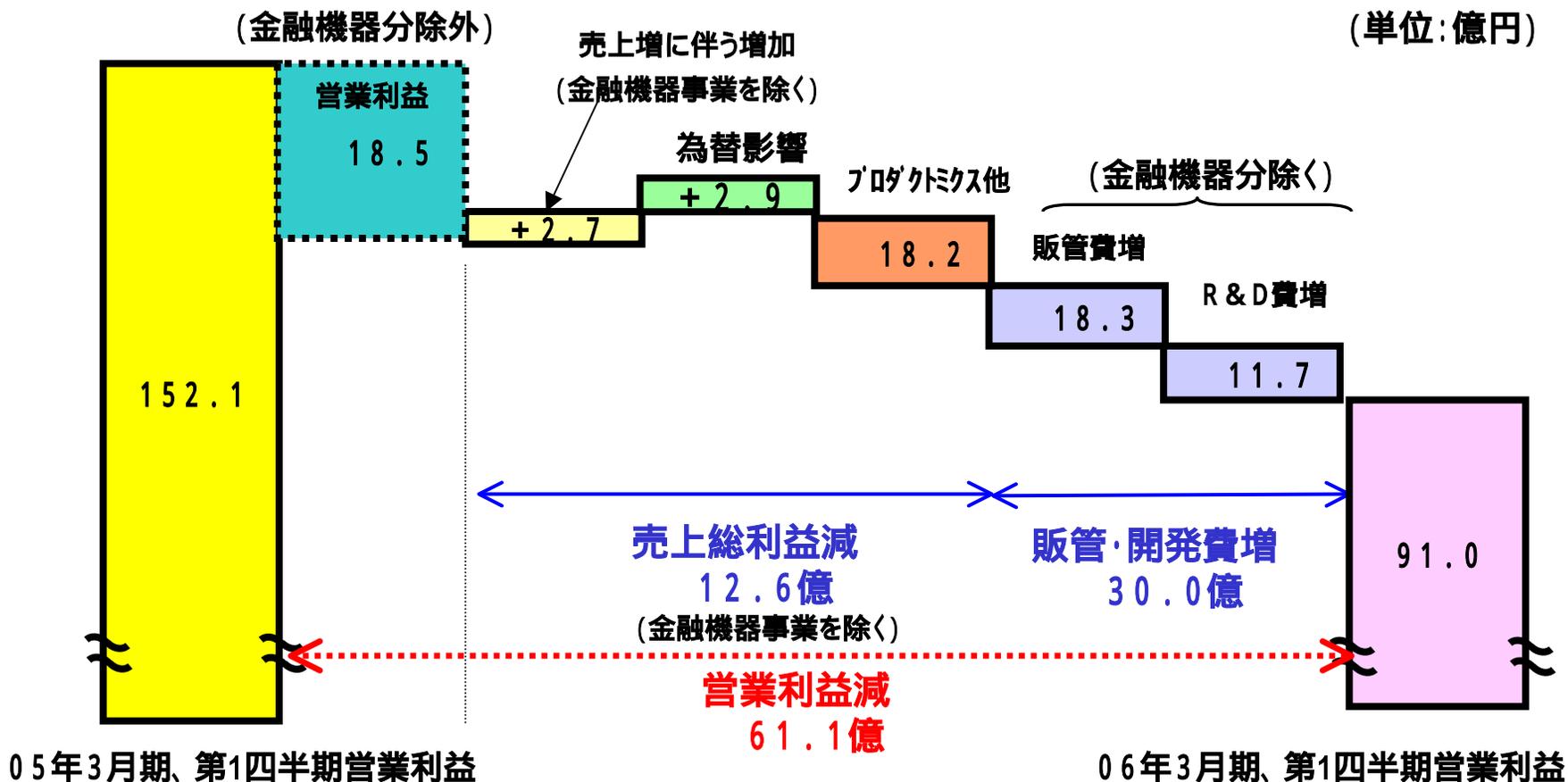
(単位: 億円)

カンパニー別	05年3月期 第1四半期 実績	06年3月期 第1四半期 実績	前年比 増減 %	06年3月期 第1四半期 当初計画	当初計画 増減 %
IAB	127	107	84.1%	90	118.9%
ECB	43	23	53.6%	30	76.8%
AEC	-3	1	-	2	33.5%
SSB	* 1	-19	-	-15	-
HCB	23	15	66.6%	15	103.1%
その他	5	6	103.9%	5	111.4%
本社費他消去	-45	-42	-	-32	-
合計	152	91	59.8%	95	95.3%

\*注) 2005年3月期の実績は、ATM等の金融機器事業の実績を含む

# 連結営業利益差異分析

営業利益の前年比マイナスは  
金融機器事業のJV移管、プロダクトミックスが主要因



### 工場自動化用、産業機器用の制御システム・機器の製造・販売

センシング機器 (光電・近接センサ、基板検査装置など)  
 コントロール機器 (PLC、温度調節器、リレー、タイマなど)  
 セーフティ機器 (セーフティセンサ、セーフティスイッチなど)

**売上高646億円、営業利益率16.6%**  
**欧米、アジアで堅調維持**

(単位: 億円)

IAB	05年3月期 第1四半期 実績	06年3月期 第1四半期 実績	前年比 増減 %	06年3月期 第1四半期 計画	計画比 増減 %
国内売上高	323	320	98.9%	328	97.4%
海外売上高	317	327	103.2%	322	101.5%
北米	50	54	107.7%	51	105.0%
欧州	167	175	104.2%	175	99.7%
アジア	28	30	107.7%	28	106.7%
中華圏	61	57	93.7%	57	99.5%
貿易分	11	12	108.9%	11	110.9%
売上総合計	640	646	101.0%	650	99.4%
営業利益	127	107	84.1%	90	118.9%

### スマートセンサ



### プログラマブルコントローラ



### 基板検査装置



家電、通信機器、携帯電話、アミューズメント機器、OA機器向けの  
電子部品の製造・販売

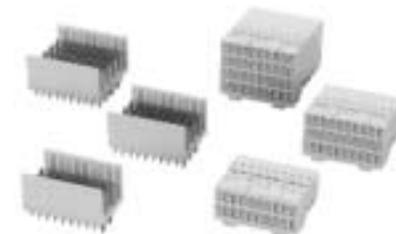
リレー、スイッチ、コネクタ、センサー、マイクロレンズ・アレイ、  
カスタムIC、ICコイン、光通信デバイスなど

**売上高226億円、営業利益率10.2%**  
**国内外で弱含み、液晶BLが苦戦**

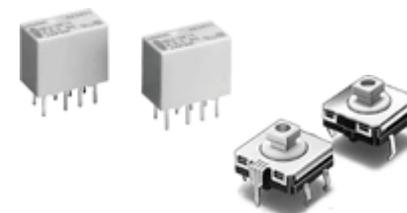
(単位:億円)

ECB	05年3月期 第1四半期 実績	06年3月期 第1四半期 実績	前年比 増減 %	06年3月期 第1四半期 計画	計画比 増減 %
国内売上高	124	115	92.1%	123	93.1%
海外売上高	124	111	89.8%	127	87.7%
北米	26	22	86.7%	24	92.5%
欧州	29	31	105.2%	33	93.5%
アジア	14	13	95.4%	14	96.2%
中華圏	28	29	106.0%	31	94.4%
貿易分	27	16	56.9%	25	62.4%
売上総合計	248	226	91.0%	250	90.4%
営業利益	43	23	53.6%	30	76.8%

コネクタ



リレー、スイッチ



液晶画面用バックライト  
B-MLA



自動車搭載用電子部品の製造・販売

車載用リレー、センサー、レーザーレーダー、パワーウィンドースイッチ、キーレスリモートスイッチ、ECUなど

売上高175億円、営業利益黒字化  
海外で売上堅調維持

(単位:億円)

AEC	05年3月期 第1四半期 実績	06年3月期 第1四半期 実績	前年比 増減 %	06年3月期 第1四半期 計画	計画比 増減 %
国内売上高	62	65	105.3%	66	98.9%
海外売上高	87	109	125.6%	104	105.3%
北米	50	58	116.8%	56	103.7%
欧州	11	16	150.7%	17	95.8%
アジア	27	35	131.8%	31	113.3%
中華圏	0	0	0.0%	0	-
貿易分	0	0	0.0%	0	-
売上総合計	149	175	117.2%	170	102.8%
営業利益	-3	1	-	2	33.5%

車載用リレー



キーレスリモートスイッチ



レーザーレーダー



駅務・交通分野への機器/モジュールの製造・販売およびソリューション/サービスの提供

自動改札機、券売機、精算機等の駅務機器  
信号制御、道路管制機器等の交通機器

自動改札機



自動券売機



交通/道路管理システム



**売上高156億円**  
前年実績の金融機器事業分を除くと、前年比116%

(単位:億円)

SSB	05年3月期 第1四半期 実績	06年3月期 第1四半期 実績	前年比 増減 %	06年3月期 第1四半期 計画	計画比 増減 %
国内売上高	239	152	63.7%	144	105.8%
海外売上高	25	3	13.3%	6	56.3%
北米	0	0	102.2%	2	23.5%
欧州	2	0	-	0	-
アジア	0	0	-	0	-
中華圏	0	0	20.0%	0	-
貿易分	23	3	12.6%	4	72.5%
売上総合計	265	156	58.8%	150	103.9%
営業利益	1	-19	-	-15	-

\*注) 2005年3月期の実績は、ATM等の金融機器事業の実績を含む

家庭用および医療用健康機器の製造・販売

電子血圧計、電子体温計、ネブライザー、歩数計、体組成計(体脂肪計)、  
低周波治療機、マッサージ機器

売上高124億円、営業利益率12.5%  
血圧計が欧州、アジアで堅調に推移

(単位:億円)

HCB	05年3月期 第1四半期 実績	06年3月期 第1四半期 実績	前年比 増減 %	06年3月期 第1四半期 計画	計画比 増減 %
国内売上高	59	63	107.5%	63	100.4%
海外売上高	65	61	93.5%	62	97.9%
北米	35	29	80.7%	33	86.8%
欧州	18	20	106.7%	18	108.7%
アジア	4	5	138.6%	4	123.0%
中華圏	7	7	97.3%	7	101.4%
貿易分	0	1	166.7%	0	-
売上総合計	124	124	100.2%	125	99.2%
営業利益	23	15	66.6%	15	103.1%

血圧計



体組成計(カラダスキャン)



携帯型心電計



**株主資本 対前期末比 +46億円**  
**株主資本比率は前期末52.2%から54.4%へ増加**

(単位:億円)

連結 B/S	2004年6月期	2005年3月期	2005年6月期
<b>総資産</b>	5,960	5,854	5,703
現預金	970	806	702
売上債権	1,134	1,217	1,069
在庫	792	686	703
その他流動資産	267	251	305
固定資産	2,798	2,895	2,924
<b>総負債</b>	3,046	2,796	2,599
短期借入金	450	229	245
長期借入金	114	18	21
その他負債	2,482	2,549	2,333
<b>資本</b>	2,914	3,058	3,104

将来に向けた投資や事業買収により  
投資活動によるキャッシュアウトは対前年同期比62億円の増

(単位:億円)

連結CF	2004年 6月期	2005年 6月期	(参考) 2005年3月期
営業活動によるキャッシュフロー	107	81	611
投資活動によるキャッシュフロー	54	116	361
FCF	53	35	250
財務活動によるキャッシュフロー	35	32	407
換算レート変動の影響	1	38	12
期中の増減額	19	104	144
期末の現金残高	970	702	806

### 3. 上半期ならびに通期業績見通し



## 当初計画値より変更なし

### < 損益計算書 >

(単位:億円)

	05年3月期 上期 実績	06年3月期 上期 見通し	前年比 増減 %	06年3月期 上期 当初計画	計画比 増減 %
売上高	3,022	2,850	94.3%	2,850	100.0%
売上総利益	1,273	1,170	91.9%	1,170	100.0%
販管費	719	710	98.7%	710	100.0%
R&D費	242	250	103.5%	250	100.0%
代行返上益	-	90	-	90	100.0%
営業利益	312	300	96.2%	300	100.0%
税引前利益	290	300	103.4%	300	100.0%
税引後利益	164	170	103.4%	170	100.0%

### < 為替レート >

US\$レート	109.5	108.9	-0.6	100.0	8.9
EURレート	132.8	135.7	2.9	130.0	5.7

\*第2Q US\$ 110円 / EUR135円

## 当初計画値より変更なし

### < 損益計算書 >

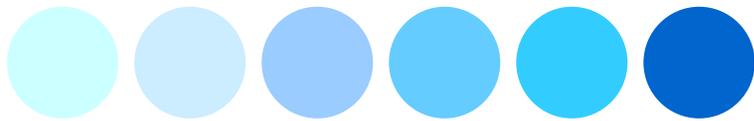
(単位: 億円)

	05年3月期 通期 実績	06年3月期 通期 見直し	前年比 増減 %	06年3月期 通期 当初計画	計画比 増減 %
売上高	6,086	6,250	102.7%	6,250	100.0%
売上総利益	2,498	2,560	102.5%	2,560	100.0%
販管費	1,442	1,500	104.0%	1,500	100.0%
R&D費	494	500	101.1%	500	100.0%
代行返上益	-	90	-	90	100.0%
営業利益	561	650	115.8%	650	100.0%
税引前利益	525	630	119.9%	630	100.0%
税引後利益	302	360	119.3%	360	100.0%

### < 為替レート >

US\$レート	107.3	104.8	-2.5	100.0	4.8
EURレート	135.0	133.0	-2.0	130.0	3.0

\*下期 US\$ 100円 / EUR130円



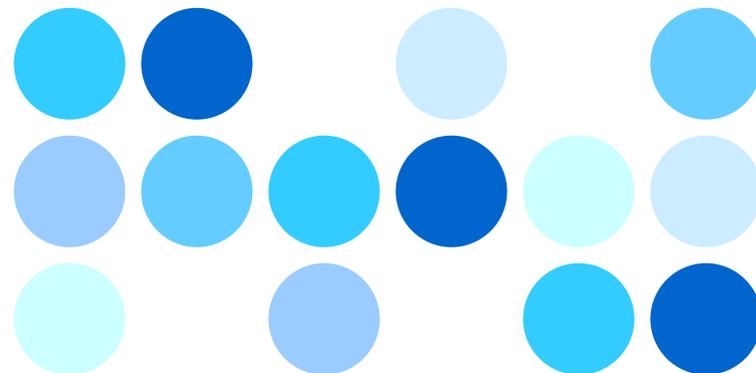
**OMRON**

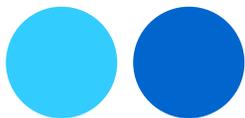
Sensing tomorrow™

# 国際競争力のあるものづくり強化のため I A B の開発・生産拠点を再編

2005年7月29日

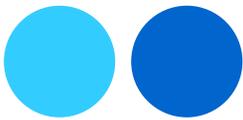
インダストリアルオートメーションビジネスカンパニー





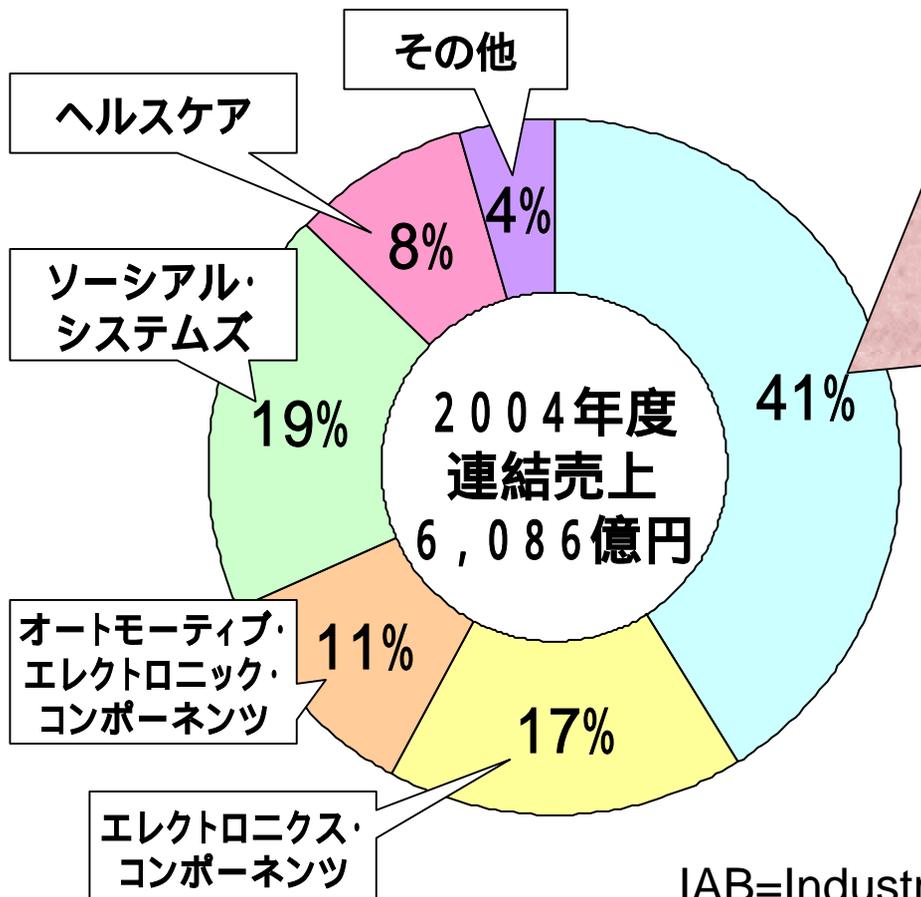
# 目次

1. IABの概要	P. 1
2. IABのGD2010第2ステージ	P. 2
3. 今回の施策の位置付け	P. 3
4. 再編の具体的な内容	P. 4
5. 再編の狙い	P. 5
6. 今回の施策の数値的インパクト	P. 8
7. 再編後の拠点の位置付け	P. 9

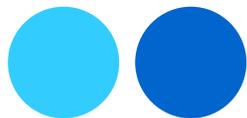


# IABの概要

IABは工場自動化等の制御機器の製造販売を担当しており、オムロンの売上の約4割を担うカンパニーである。センサ、PLC、タイマなどが主力商品。

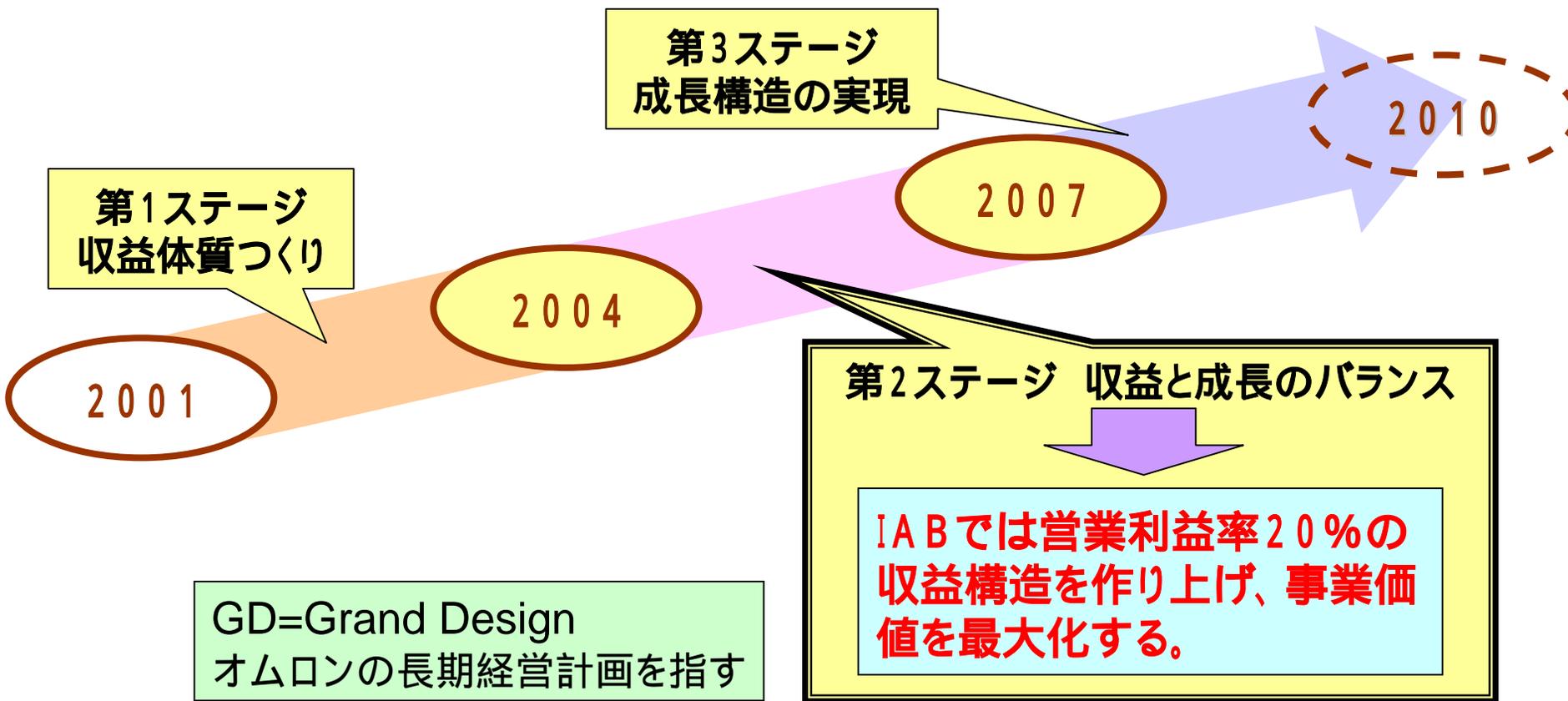


IAB=Industrial Automation Business Company

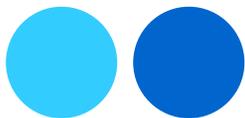


# IA BのGD2010第2ステージ

GD2010の第2ステージ(全社テーマ:収益と成長のバランス)において、IA Bでは営業利益率20%の収益構造を作り上げ、事業価値を最大化する。



注:目標とする営業利益率20%は、新規領域を除く既存+中華圏領域の営業利益率。



# 今回の施策の位置付け

今回の開発・生産拠点の再編によって、IABの国際競争力のあるものづくりを強化し、GD2010第2ステージ目標の達成を図る。

## IABのGD2010第2ステージ目標

営業利益率 16% (03年度) 20% (07年度)

積極的な成長投資、構造改革投資をしながらも、営業利益率目標を達成する。

国際競争力のある「ものづくり」の強化

コア技術力の強化

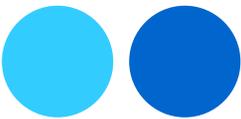
コンカレント  
開発の強化

生産コア  
技術の追求

コスト競争力の強化

中国設計生産拠点(OMS)  
の強化

OMS = 中国(上海)の設計生産拠点の社内略称



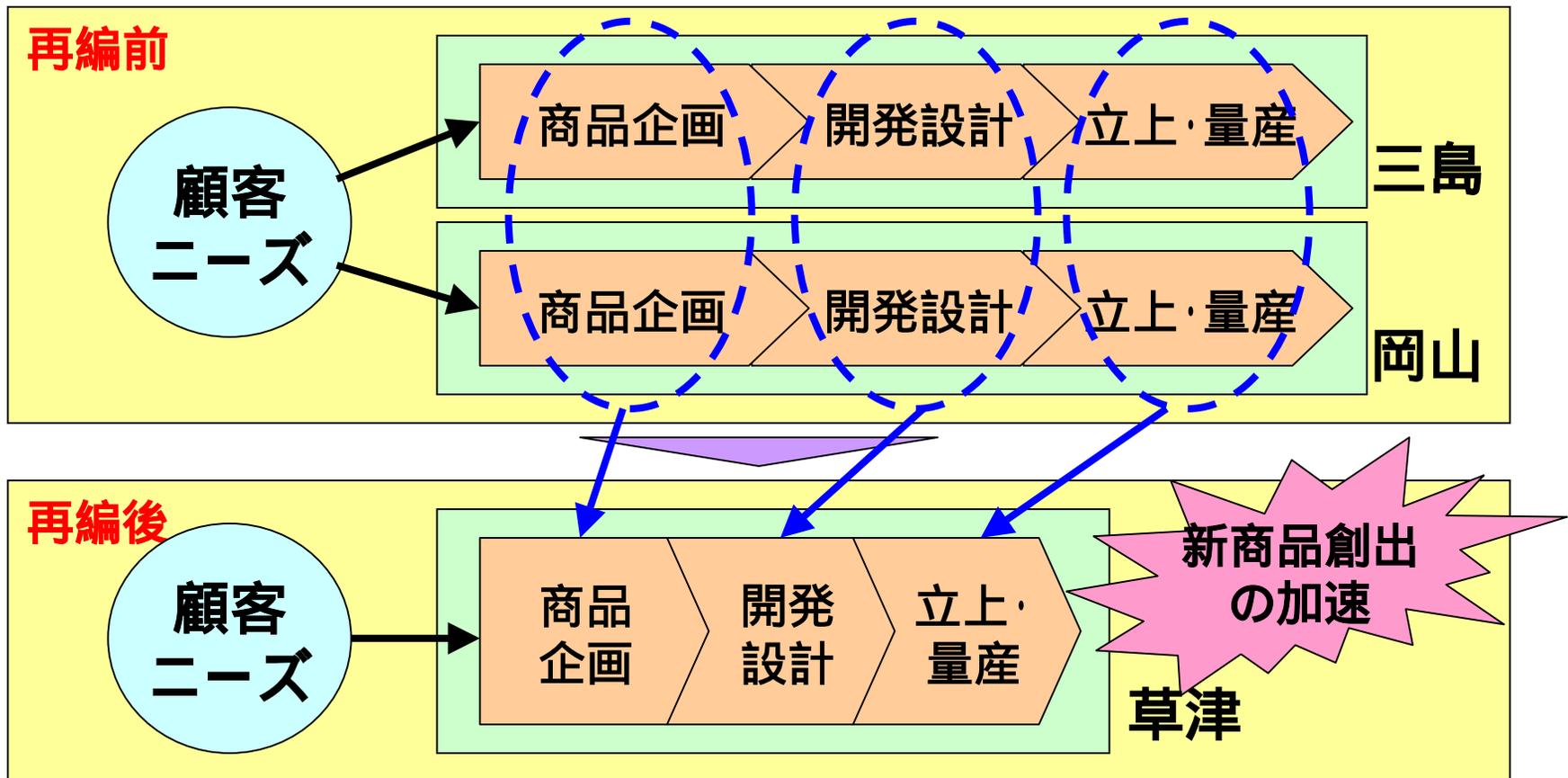
# 具体的な再編内容

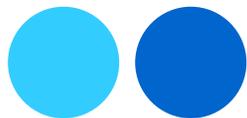
日本では07年度までに拠点を再編して、コンカレント開発の強化と生産技術力強化を実現し、中国への生産シフトを加速してコスト競争力を強化する。



# 再編の狙い コンカレント開発の強化による新商品創出の加速

開発・生産拠点を統合することで、技術資産を共用活用する等、コントロール系商品のコンカレント開発を強化し、商品開発スピードを向上させる。





# 再編の狙い 生産コア技術 強化による高効率生産の実現

生産技術機能をコントロール系商品の開発・生産拠点と同一ロケに統合することにより、混流・需要同期化設備技術等の生産コア技術を強化する。

## 生産コア技術強化の狙い

### 『商品の差異化と高効率生産

(いつでも、どこでも、グローバルレベルのQCD)の実現』

05年度～07年度の3年間で12億円の研究開発投資

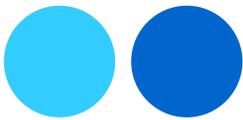
商品構造の共通化

フレキシブル化技術等

工法・工程の共通化

工法革新技術等

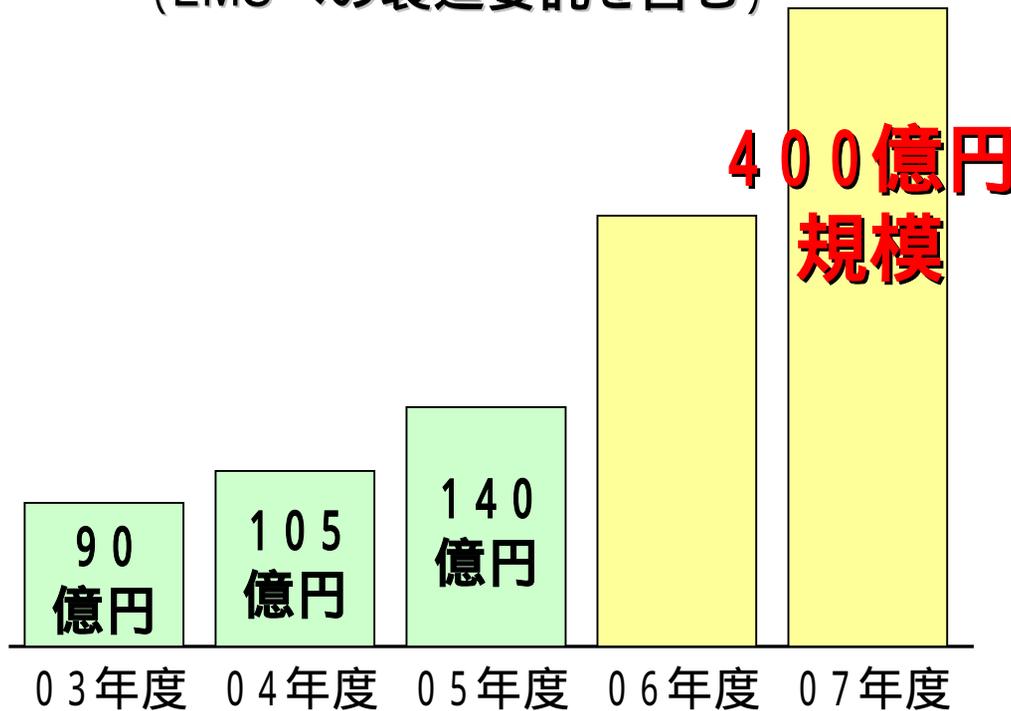
生産コア技術



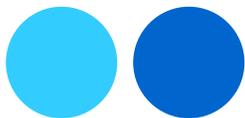
# 再編の狙い コスト競争力強化

日本から中国への生産シフトを加速し、中国生産インフラの徹底活用による変動費・固定費削減の効果により、中国市場で勝てるコスト構造を作り込む。

## 中国生産出荷高の拡大 (EMSへの製造委託を含む)



コスト構造の  
作り込み



# 今回の施策の数値的インパクト

今回の施策では累計100億円の構造改革投資を実行し、結果として、07年度以降、毎年90億円以上の製造固定費の抑制を見込んでいる。

## 拠点再編に関わる 構造改革投資

100  
億円

内訳  
日本50億  
中国50億

05～07年度累計

## グローバル製造固定費

90億円  
抑制効果

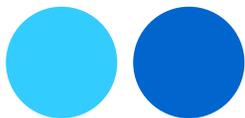
再編を実施  
しない場合

再編を実施  
する場合

07年度

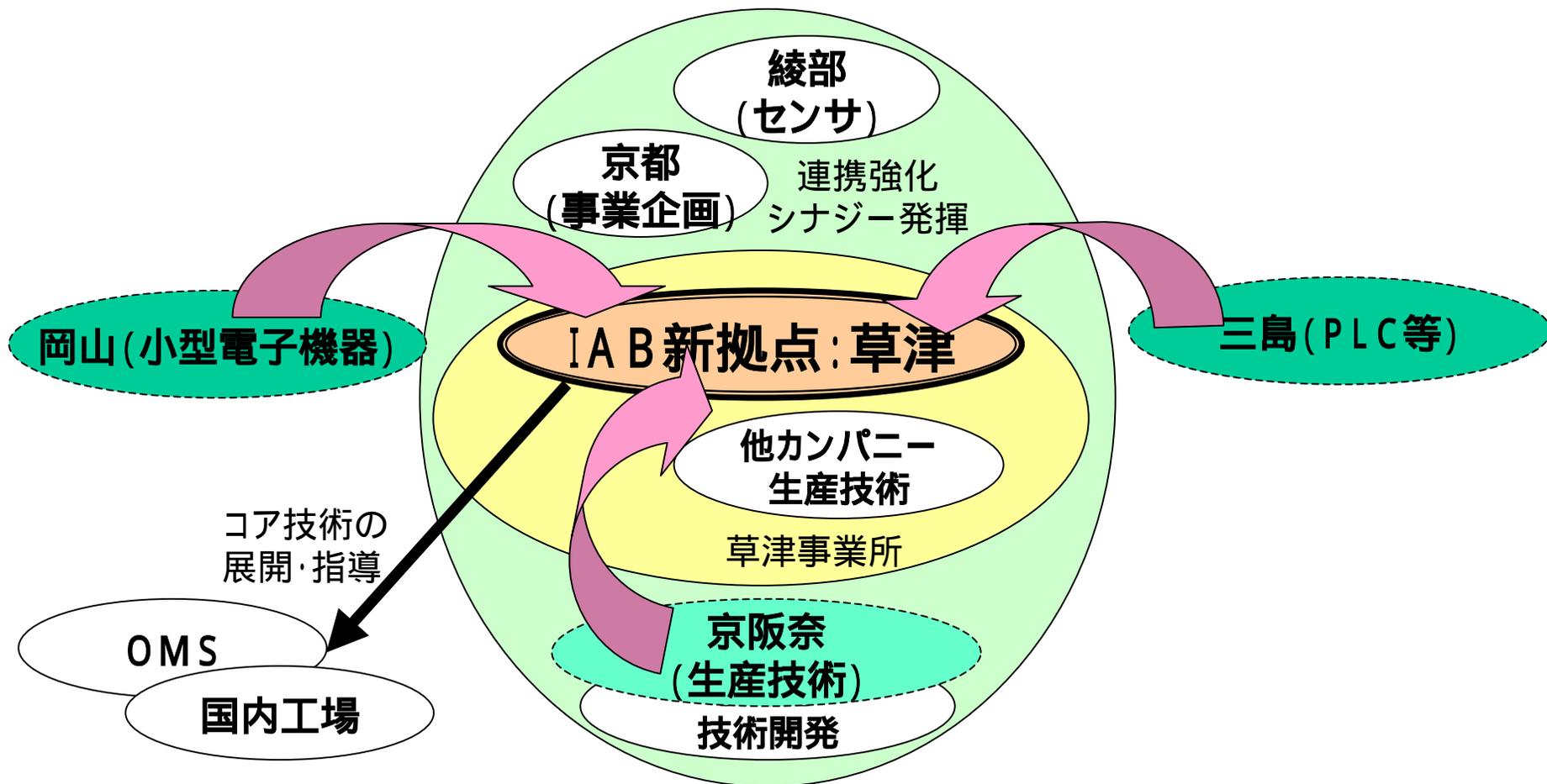
07年度以降、04  
年度IAB営業利益  
414億円の22%  
相当以上を毎年抑  
制可能。

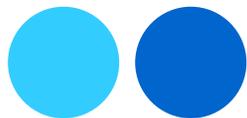
営業利益率向上に  
大きく貢献！



# 再編後の草津新拠点の位置付け

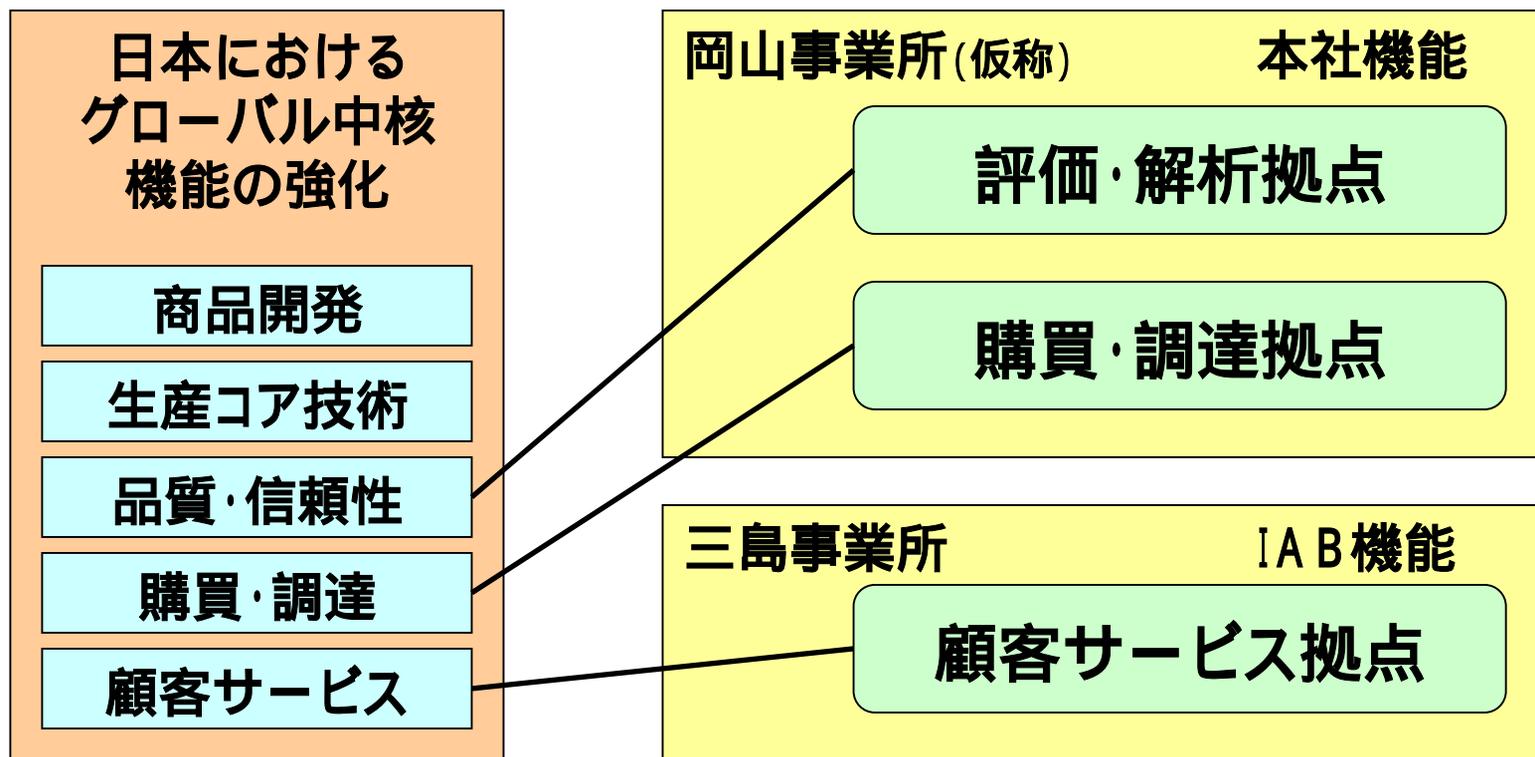
コントロール系商品の開発・生産拠点とIABとしての生産コア技術拠点を同一拠点に構築することにより、技術の強化・蓄積を加速する。

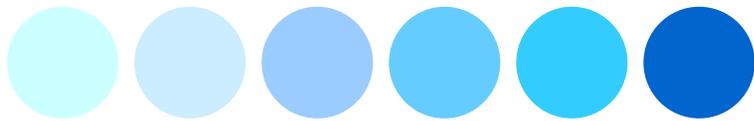




# 再編後の岡山・三島の位置付け

日本におけるグローバル中核機能を強化するため、岡山事業所は評価・解析および購買・調達拠点、三島事業所は顧客サービス拠点と位置付ける。





人と機械のベストマッチングをめざして



# オムロン株式会社

<お問い合わせ>

財務IR室 経営IR部

電話: 03-3436-7170

Email: [omron\\_ir@omron.co.jp](mailto:omron_ir@omron.co.jp)

HPアドレス: [www.omron.co.jp](http://www.omron.co.jp)

